

ごあいさつ

この度、令和3年度から10年間にわたる市政運営の指針となる「綾瀬市総合計画2030」を策定いたしました。

市民の皆様をはじめ、市内の事業者の方々、そして本市に関わりを持たれる多くの方々が計画策定に御参画くださり、貴重な御意見をいただくことで、本計画を策定することができましたことを厚く御礼申し上げます。

今回の総合計画は、全国的な人口減少や少子高齢化が進行する中であっても、本市がいかに持続的な成長・発展を遂げ、地域福祉の実現や行政サービスの維持をしていくための基盤を作り上げていくかということに、強い思いを持って策定を進めてまいりました。

持続可能な行政経営をしていくためには、地域資源や特性を有効に活用し綾瀬らしさを発揮していくこと、小さい都市だからこそできる人と人との信頼関係やつながりを大切にしていくこと、そして、行政としても「稼ぐ」視点を持っていくことが必要であると考え、これらは戦略プロジェクトの中でも重要な要素として取り入れております。

本計画がスタートを切る令和3年度には、綾瀬スマートインターチェンジの供用開始を予定しています。新たなヒト・モノの流れや交流が生まれることが予想され、本市のまちづくりが次のステージに進もうとしており、この契機を最大限に生かし、誰もが住み続けたい、住んでみたいと思える活力と魅力があふれるまちづくりをより力強く進めてまいります。

まちづくりは市民と行政の共同作品であり、「共に創りだす」ことができる関係性が、より革新的な取り組みや成果につながっていくと考えております。皆様と共に、“つたえる”を大切にし、“つながる”を生み出すという理念のもと、これからのまちづくりに取り組んでまいりたいと思いますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和3年1月

綾瀬市長

古塩政由

